

受託研究月次報告書（記載例）① 1 症例当たりの単価契約の場合

独立行政法人 国立病院機構  
 受託研究事務局 御中

研究依頼者 担当者  
 依頼団体名称：  
 担当者氏名： 印

独立行政法人 国立病院機構 沖縄病院における受託研究（治験、製造販売後臨床試験を除く）に係る標準手順書第 1 3 条に基づき、下記の研究の進捗状況について報告します。

記

研究依頼者	住所： 名称： 代表者：
研究課題名	
月次	西暦 年 月次
症例数	初回契約時契約症例数 例（追加契約症例数 例） 研究実施終了症例数 例 研究実施継続症例数 例 当月次初登録症例数 例（西暦 年 月末現在）
月次実績 （月次発生 経費内訳）	経費発生症例数 $\text{¥ } 20,000 \times 2 \text{ 件} = \text{¥ } 40,000$ 症例報告作成件数 $\text{¥} \times \text{件} = \text{¥}$ 発生経費合計 <u>¥40,000</u>

注) 本報告書は必ず毎月 2 8 日までに本院事務局宛届くように郵送もしくは提出すること。

受託研究月次報告書（記載例）② 1 報告書当たりの単価契約の場合

独立行政法人 国立病院機構  
 受託研究事務局 御中

研究依頼者 担当者  
 依頼団体名称：  
 担当者氏名： 印

独立行政法人 国立病院機構 沖縄病院における受託研究（治験、製造販売後臨床試験を除く）に係る標準手順書第 1 3 条に基づき、下記の研究の進捗状況について報告します。

記

研究依頼者	住所： 名称： 代表者：
研究課題名	
月次	西暦 年 月次
症例数	初回契約時契約症例数 例（追加契約症例数 例） 研究実施終了症例数 例 研究実施継続症例数 例 当月次初登録症例数 例（西暦 年 月末現在）
月次実績 （月次発生 経費内訳）	経費発生症例数 $\text{¥} \times 2 \text{ 件} = \text{¥}$ 症例報告作成件数 $\text{¥}20,000 \times 3 \text{ 件} = \text{¥}60,000$ 発生経費合計 <u>¥60,000</u>

注) 本報告書は必ず毎月 2 8 日までに本院事務局宛届くように郵送もしくは提出すること。

※補足①「症例数」欄の記載について

- 「初回契約時契約症例数」：契約書に記載された目標症例数を記載します。  
 (変更契約により症例数が増えた場合は増えた症例数を「追加契約症例数」に記載)
- 「研究実施終了症例数」：全ての報告書の受理が完了した症例数を記載します。  
 (途中で脱落となった症例も含む)
- 「研究実施継続症例数」：症例登録～全ての報告書の受理が完了していない症例数を記載します。
- 「当月次初登録症例数」：報告書の提出月に初めて症例登録がなされた症例数を記載します。

※補足②「月次実績（月次発生経費内訳）」の記載について

① 1 症例当たりの単価契約の場合、  
経費発生症例数及び 1 症例当たり単価、合計金額を記載します。

② 1 報告書当たりの単価契約の場合（※ 1 症例につき報告書 1 冊の場合も、報告書の作成数に応じて経費が発生する場合はこちらに該当します。）

該当となる症例数及び症例報告作成件数、1 報告書当たり単価、合計金額を記載します。

例：契約単価が報告書 1 冊当たり 20,000 円（1 症例当たり 2 報告書）の場合

上段に、請求可能となった報告書の該当する症例の人数を記入します。

下段に、請求可能となった報告書の作成数（冊数）、1 報告書当たり単価、合計金額を記入します。

請求対象症例数 2 名（内 1 名：報告書 2 冊、1 名：報告書 1 冊）であった場合、上記のような記入方法となります。